

電友会だより

(発行日)

平成三十一年

三月一日

(発行責任者)

佐野常雄

会長あいさつ

会長 佐野常雄 (昭和三十一年卒)



皆さま、こんにちは。電友会会長三年目を迎えることは、本部同窓会の役員改選期に合わせるため任期を一年延長したもので、大変お世話になり皆様のご協力を頂き笑いある・楽しい会、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年の会報に「あいさつ」申し上げました「健康な身体に、健全な精神が宿る」に資料を載せてご覧いただきましたが、如何でございませうでしょうか。お伺いいたします。「健康」であれば種々のボランティアが出来、一例として、民謡教室で習った「秋田大黒舞」を唄い乍ら踊り、湯川村敬老会・芸能発表会・各地区のデイサービスセンター施設への慰問を十カ所と、電友会の総会の時も実演させて頂き喜ばれておりますことを報告させて頂きます。健康な体は、食べ物の好き嫌いを言わず何でも喜んで(感謝)食べることです。一日の健康日程は、早朝の散歩30分、ラジオ体操(携帯ラジオ)10分、朝食後畑の農作業、老人クラブ、短歌会等の団体活動には時間遅れることなく出席する。予定表には良く記帳して、忘れることの無いようにすること。笑顔を忘れず、人に会った時は、自分から、明るく、元気に「あいさつ」をされれば、他人も元気になることでしょうか。一寸、自慢げなことになりましたが、お許し下さい。ところで、先日の新聞の対談で「人生百年時代」が載っていましたので、申し上げますと、小泉進次郎衆議院議員(37)が、新たな社会像を積極的に打ち出し提言を込めた思いから死生観までを多岐にわたるお話をされました。①学びは本当に大事です。萩本欣一さん(77)は、駒沢大学四年生で一年から四年へ進む

につれて「脳が今一番働いている。認知症予防は、病院へ行くより大学に行こうだよ」と高齢者の方に話すとみんな生き生きとします。学び直したいと言う気持ちを持つシニアのためにも大学をもっと社会に門戸を開き、様々な年齢層の人々に人類の知を伝える取り組みに大学の在り方として、例えば福島大学に、今年4月から食農学類が開設され、会津大学にもコンピュータに特化した、サイバーセキュリティやAI(人工知能)の開発に人出不足となります。②高齢化が急激に進み、高度な技術者が大量に辞めることはもったいないのでその活用方法として、今の日本の「現役」は15〜64歳を18〜74歳に変えて、働き手の定義を見直して30年先までも、現役時代の割合は、変わらない。③長寿の時代、自分の人生をどう締めくくるかの死生観は、私は、延命は嫌ですね、痛みは取ってほしいけれど、生き方と終い方はセットなのです。④長寿には、健康が大切です。ぜひ実現したいと思っているのが「公園をスポーツジム」のようにすることです。子供向け遊具とジムにあるような健康器具や筋肉トレーニングの器具も備え、公園で子供から高齢者まで全世代が使えるようにする。みんなが身近な場所です運動し、健康づくりや病気の予防に取り組みやすい。⑤病院のサロン化より公園のサロン化にすると街中に人の賑わいがあると思えば、元気になるんです。⑥健康で大切なものは食。福島は食の王国であり、もともと地元の食と健康を活かしたまちづくりを進めてもらいたい。と話されました。私たちも人生百年時代を、より健康で長生きしようではありませんか。

合掌



《電友会の活動報告》

事務局 白井達夫（昭和四十三年卒）

◇史跡探訪（六月）

平成三十年の史跡探訪は、六月十五日、会員14名の参加で西会津町の史跡を訪ねました。案内役は、今回も昭和三十年電気科卒の大川原史郎さんです。大川原さんには毎回詳細な資料作成と現地説明で大変お世話になっており、紙面を借りて御礼申し上げます。以下、探訪個所の概要を紹介いたします。興味のある方はぜひ訪れてみては如何でしょうか。

【出ヶ原円満寺観音堂】所在地：西会津町下谷

西会津町野沢く三島く田島く只見を結ぶ旧御蔵入西方街道に在る出ヶ原は、かつて伊豆ヶ原と称され、何時の頃か不明だが、伊豆の国の人々が、この地に紙漉の業を伝えた。以来この地は紙の生産地として栄え、会津藩の公文書はすべて「出ヶ原紙」を使用した。紙の生産は藩の統制のもと手厚く保護されたと言う。

俗に「出ヶ原観音堂」と呼ばれる観音堂は、建立時は不明だが古文書や形式・技法から室町末期の建立と言われている。現在の堂は天正七年（1579）の建立で「方三間、総檜材、茅葺（かやぶき）の入母屋造り」。内部は本格的な唐様建築手法。昭和三十八年七月に国の重要文化財に指定され、昭和四十五年五月から約一年の解体修理を機に、集落の道路沿いから高台に移築された。



【如法寺観音堂鳥追観音】所在地：西会津町野沢字如法寺

正しくは薩埵（さつた）山曙光堂という。金剛山如法寺が別当寺で寺伝によると大同年間（806～810）に法相秀宗の徳一の建立という。往時は会津五大寺の一つに数えられた。慶長の大地震（1611）による倒壊や数度の火災に遭い、現在の堂宇は嘉永四年（1851）農民の寄進により150両余りで再建したものと考えられる。

「鳥追観音」（「会津ころり観音三観音」の一つ）は、天平八年（736）行基菩薩巡錫のおり、鳥獣害に苦しむ農民の姿を憐れんで念持仏の一寸八分の聖観音をお授けになった。農民たちは聖観音を祀り尊崇したところ、鳥獣害もいつしか無くなり、人々はこの尊像を「鳥追観音」と呼んだ。観音堂は南向きに建てられ、東西に向拝口がある三方向開きの我が国唯一の構造と言われる。ご本尊の聖観音を拝して西側に出るようになるが、西の山には「山の神」が鎮座しており、その彼方は極楽浄土の世界を表し現世から来世に向かう世の中を示している。ころり抱きつき柱が左右に二本・男女別。東口向拝に隠れ三匹の猿、西口向拝には梅に鶯の彫刻が素晴らしい。境内には樹齢1200年と言われる根回り約6m、目通り幹周り約4m、樹高約30mのコウヤマキの巨木がある。



中央奥・案内役の大川原さん

【大山祇神社】所在地…西会津町野沢字大久保

宝亀九年(77

8)相模の三島大社を勧請し親娘三神を祀る。大山祇命は水源、水利、金石の神であり、川の流れと共に川を下り水の神となり、平地を潤しながら農耕の神となり、やがて海へ流れて海の神・漁業の神となり人々の暮らしを守り、また岩長比売命(いながひめのみこと)は長寿の守護神、木花咲耶姫命(このはなさくやひめのみこと)は良縁・安産の守護神としてあげられ、県内外から厚い信仰が寄せられている。毎年六月が例大祭であり、「一生に一度の願いは、野沢の神様に三度続けてお参りすれば、なじよな願いも叶えて下さる」との事から、当日は大勢の参拝者で賑わっていた。拝殿から約4kmの山道を登ると御本社が鎮座しており、参道は樹齢450年程の杉並木や見事な滝もあり格好のハイキングコースとなっている。我々一行は行程上(本音は、会員の脚力を考慮して)、拝殿のみの参拝とし、門前の茶屋で休憩・昼食さらに土産物を求めたのち帰路についた。天候に恵まれ、清々しい気持ちの一日でした。



◆施設見学会(九月)

今回の施設見学会は、台風21号接近直前の九月三日、会津本郷焼の窯元「流紋焼」(創業明治35年)を会員8名で訪れました。流紋焼でアルバイトをしている会員の縁もあり歓待を受けながら、まずは工場見学。伝統的産業工芸品指定「流紋焼」の完成までの工程概要は①会津の大地から産まれた良質の陶石を粉碎機に入れ粉末にする②陶石とその他の原料を調合・攪拌し泥にする③泥を脱水し、良く練り上げて粘土を作る④粘土をロクロで廻したり、型に流したりして形を作る⑤乾燥させた半製品を水洗いして底にロウを塗り、うわぐすりが付かないようにする⑥うわぐすり(もみ殻やわらの灰・酸化金属など)をかける⑦焼成温度1300度の窯の中で25時間ほど焼き上げて完成です。粉碎機や各種機械類は相当の年代物で保守に苦労されている様子や、製品の仕上げまでの熟練の技、焼成時の細心なコントロール等々に感心し興味深く見学しました。また、会工電気科卒という事で一般的な見学コースに加え電材の「玉碇子」の製造工程も案内していただきました。



2018/09/03 11:17



見学後は「手びねり」に挑戦！
 「手びねり」は粘土で湯呑みや
 コーヒーカップや皿などオリジ
 ナルの作品を作る陶芸体験コー
 スの一つです。プロの陶芸家の
 懇切丁寧な指導の下、「片口」や
 「皿」作りに取り組み、悪戦苦
 闘しながら世界に一つだけの見
 事な器？を完成させました。窯
 元での乾燥くわぐすりく焼成
 の工程を経て出来上がった作品
 は、十月十九日開催の定例総会
 時にお披露目させていただき、
 ほろ酔い気分の参加者から称賛
 (笑)されました。会員の皆様、
 ぜひお孫さん等と一緒にご家族で体験されてみませんか！



会津本郷焼 窯元 伝統的産業工芸品指定 創業明治三十五年

伝統ある窯元で、物を創る大切さを体験してみませんか？

体験実習ご案内

随時受付

お子様でも安全！簡単！

手びねり

絵付け

☎0242-56-2221 <http://www.ryuumon.co.jp/>

◇定例総会(十月)

第二十四回定例総会および懇親会は、平成三十年(二〇一八年)十月十九日(金)に、会津若松市内の「ホテルニューパレス」において、会員二十七名と、ご来賓の六名を加えた三十三名で開催されました。

総会は、物故者に対する黙祷と校歌斉唱の後、鹿目忠明副会長(昭和四十年卒・会津若松市)の開会宣言で開式。星陽一さん(昭和四十年卒・東京都)を議長に選出し(星さんには三年連続で議長の大役を担っていただき、ありがとうございます)平成二十九年(期間：平成二十九年十月一日～平成三十年九月三十日)の活動経過報告、会計・会計監査報告。さらに、平成三十年(案)・予算(案)の各議案が満場一致で承認可決されました。

議事終了後には、電気科主任の井上浩一先生より、進路状況や母校の近況報告を受け、母校の繁栄と後輩の活躍に全員の大きな拍手でエールを送りました。井上先生、今回もありがとうございます。

さらに、昨年、見事に初当選を果たした「野中寿勝」会津美里町議會議員(昭和五十年卒)と、今夏八月に二期目に挑戦する「村澤智」会津若松市議會議員(昭和六十二年卒)から挨拶を受け、両氏の今後益々の活躍を応援し、更なる支援を確認しました。

総会終了後の講演は、会津若松市高齢福祉課の國廣多美子氏を講師にお招きし「笑いは百薬の長」と題した講義で、身体も心も和らぐ楽しいひと時でした。

恒例の懇親会は、成田良副会長(昭和三十五年卒・会津若松市)の司会で開会。ご来賓を代表して藤田晴史同窓会会長(昭和四十年卒・会津若松市)と二瓶賢一工学校長のお二人からご祝辞を頂戴した後、管家忠平さん(昭和二十六年卒・会津若松市)の発声による乾杯で祝宴に入りました。佐野常雄会長(昭和三十一年卒・湯川村)の大黒舞の余興などで大いに盛り上がりました。

根本一雄さん(昭和三十六年卒・会津美里町)の音頭で応援歌A調、頑張れ応援歌を全員で声高らかに歌い上げ、青春の熱い血を呼び起こしました。長谷川与一さん(昭和四十年卒・猪苗代町)の中締めの後、再会を誓いお開きとしました。



大黒舞
佐野会長



乾杯！
管家忠平氏



藤田晴史
同窓会会長



二瓶賢一
校長先生



講演会「笑いは百葉の長」

〈事務局からのお知らせ〉
次回の第二十五回会工電友会定例総会は、平成三十一年十月十八日（金）ホテルニューパレスで開催予定です。また、本部同窓会総会は翌十九日（土）に開催予定ですので合わせてご参加ください。



会工電友会 第24回定例総会

《会工高 電気科からの寄稿》

電気科とはどのような学科

電気科主任 井上浩一

会津工業高等学校に赴任して7年目になりました。赴任当時は、多くの諸先輩の先生方に囲まれておりました。今年は、平成生まれの若い教職員の先生方とともに業務に取り組んでおります。月日が流れるスピードの速さを実感する日々であります。

今年度の三年生の進路状況について紹介します。就職希望生徒が県内に14名、県外に9名の内定を頂きました。大学進学希望生徒は電気系学部へ4名、その他の専攻に3名合格しました。専門学校への進学希望生徒は、公務員試験対策専門学校へ3名、専門技術学校へ6名となりました。今年度も、多くの生徒が、電気系の進路先を選択することとなり大変うれしく思っております。

ところで、現在、会津工業高等学校には5つの学科があります。近年、電気科を志望する生徒が減少しております。その理由を、各料との比較で考えてみました。

実習内容の一部を列記しますと、建築科は、木材加工を通して椅子の製作、機械科は、金属加工を通して一例として文鎮の製作、セラミック技術科は、窯業科の流れを汲んだ陶磁器を製作しております。視覚的に捉えることのできる実習内容であります。

情報技術科は、パソコンの利用方法、プログラミング技術を学びます。スマートフォンも普及とともに、デジタル通信技術、プログラミング技術への関心が高まっています。

電気科ですが、実習では、電気を送電方法、電気機器の特性試験、電気工事の技術演習などを行います。高圧実験では、放電現象より命の危険を感じることもあります。

電気科の学習内容は、視覚的に捉えることができません。電気は目で確認できないため、理解しにくく難しい、危険が伴う学習という認識のもと、志願者が少なくなるのかも知れません。

では、電気の可能性について考えてみます。夜に灯りを提供してくれる電灯、工業製品を製作する工作機械、快適な環境を作り出す空調設備、全て電気エネルギーを利用してあります。インターネット社会は、

電気の安定供給のもとに成立するものです。やはり、私たちは電気というものに依存した社会で暮らしているのです。電気は、現代において、かけがえのない存在となっているのです。

私は、電気を学習する生徒は貴重な存在であり、日本経済を支える人材であると思います。電気科を志望し入学してきた生徒には、電気の基礎的知識をしっかりと身に付けて卒業させたいと思っています。会津工業高等学校電気科卒業という大きな勲章の重みを生徒には感じてほしいと思います。



第1種電気工事士に合格した生徒。前列中央は二瓶校長

国家資格「第一種電気工事士」

会津若松市・会津工業高等学校の生徒十三人が電気工事士の最上位の国家資格「第一種電気工事士」に合格し突破した。

合格したのは三年生十人、二年生三人。三年生のうち二人は昨年度に合格した。資格取得により、住宅やビルなどの最大電力五百路未満の設備で電気工事に従事できる。

三年の東瀬宏弥さんは過去問題を繰り返し解いて理解を深めた。県の電気系技術者に内定しており、「資格を生かして社会人として頑張りたい」と意気込んだ。二瓶賢一校長は「地道な努力を今後も続けてほしい」とエールを送った。

合格者は次の通り。

- 小林潤之介、佐伯樹、佐藤健、鈴木直平、東瀬宏弥、永井友樹、長谷川陽大、本田祐士、瀧藤光、寺大徳(3年)、小原琉聖、斎藤雄介、渡辺善之介(2年)

先日、国家資格第一種電気工事士の合格結果が発表されました。本校は11名の合格者を輩出することができました。現三年生は、10名が第一種電気工事士の技能試験合格の資格を取得し卒業となりました。電気の基礎知識習得の有無を証明するには、資格取得が有効です。今後とも、電気科職員一丸となって、電気工事士の資格取得に支援していく所存です。

電友会の皆様へ、今年度の会工祭には、多くの方に来校いただきましたこと感謝申し上げます。今後とも会津工業高等学校電気科の動向に注目していただきたいと思います。皆様からのご意見ご助言は、私たち職員の励み

になります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

卒業生へ、本校電気科の3年間はどうか思い出したか？本校の学校生活から学んだこと、成長できたことがありますか。多くの課題を抱えた生徒もいると思いますが、卒業という節目の時です。会津工業高校電気科卒業生として、誇りをもって、次のステージで自分の課題に真剣に取り組んで下さい。君たちの成長はこれからであります。

“かぢのまち”より応援しています。卒業おめでとうございます。



「三年間を振り返って」

三年電気科 高橋 凜

私が会津工業高等学校の電気科に入って、約三年が経ちました。長いようで短かった三年間を振り返ってみて思ったこと、感じたことを書かせていただきます。

中学校を卒業したばかりの私たちには、先輩方の姿が大きく見え、新しい生活への期待と不安で胸を膨らませ臨んだ入学式を今でも鮮明に覚えています。入学してすぐに取り組んだのは国家資格である第二種電気工事士の学習でした。電気についての知識は全くない状態でしたが、先生方や電気部の先輩方の熱心なご指導のおかげで一年時に多くの生徒が合格することができました。現在では第一種電気工事士の合格者が10人と、近年では多い合格者になっています。また、危険物取扱者などの上級資格にも挑戦し数多くの合格者がいます。その中でもジュニアマイスターのシルバーが4人もいて資格取得については特に頑張ったと思います。先生方ありがとうございました。

一年生の時の行事はとにかく全てが初めてでした。球技大会、強歩大会、体育祭と、三年生の迫力になるようなれといった感じでした。印象に残っているのは体育祭です。三年生が主体となって進めた応援練習で、電気科はダンスを踊りましたが、あの時の三年生はとてもかっこよかったです。

二年生は中堅学年として先輩を支えながら、後輩を引っ張っていく立場となりとても大変な日々でした。二年生になると大きな行事が二つありました。一つ目は誰もが楽しみにしていた修学旅行です。広島、大阪、京都などを四泊五日で巡り友達と時間を共有し新たな一面を見ることができ、今までより一層絆を深めることが出来ました。また限られた時間内で行動する集団行動の重要さを感じました。二つ目はインターンシップです。それぞれが電気関係の企業にお世話になり工事現場などを肌で感じるとともに、社会の厳しさであったり仕事の大変さを学ぶことができた三日間でした。就職先を決めるいい機会にもなりました。お世話になった企業の皆さんありがとうございました。

三年生では学校の最学年としての活動が増え、一年生とは反対に全ての行事が最後になり一日一日を大切に生活してきました。中でも三年に一回の公開文化祭が印象に残っています。「青鬼」という大人気

ゲームを教室内に再現しました。思ったより大好評でも嬉しかったです。またバンド演奏も電気科の人が数多く出演し素晴らしい演奏でした。進路については、自分の夢に近づくため必死に勉強した結果、今年も大手企業に就職することができました。

そこで私の三年間で一番印象に残っているのは部活動です。会津工業野球部に所属して毎日鍛錬してきたことで野球の技術だけでなく、礼儀、そして何より感謝することの大切さを学ぶことができました。今まで野球ができたのは多くの人の支えがあったからだと思います。ありがとうございました。これまでに高校生活で学んできたことを忘れずに立派な社会人になるために頑張っていきたいと思います。

一・二年生の皆さん、これから楽しいことはもちろん、辛いことや苦しいことがあると思いますが、一つずつ解決していけば無駄なことはありません。クラスメイトが悩んでいたりを助けてくれたら助けて、素晴らしいクラスを築き残りの高校生活を楽しんでください。



E



「平成三十年度 会工電気科卒業生」 三年電気科担任 渋川 順一

教員になって初めて工業高校の担任を務めさせていただきました。私は、高校普通科卒業であり、教育学部出身のため工業高校に赴任するのは、いくらかの不安がありました。

受け持つ生徒が入学し、最初に経験するのが「第二種電気工事士」の資格を取るために、部活動に優先しての課外授業であります。入学して間もない生徒にとって、部活動との両立は大変つらいものがあるにもかかわらず、31名(39名中)の合格者を出しております。中には、「第一種電気工事士」の資格取得に挑戦し、二年生で2名の合格者を出し、三年の1月まで多くの生徒が取得に向けて課外授業に取り組んでいます。きつと、多くの生徒が目標を達成することと思います。

また、危険物取扱者の資格を取得した者も多く目立つのも今年の大きな特徴であると思います。乙種全類(1類・2類・3類・4類・5類・6類)を取得した生徒が1名、2種目以上の取得者が4名、4類取得者が7名とよく頑張っています。生徒の頑張りはもちろんですが、指導される先生方の熱意によるところも大きいと思われれます。

また、部活動ではスキー競技(アルペン競技)において団体選手、陸上競技において投擲種目でインターハイに出場した選手もおり、学業のみならず幅広く活動してくれています。

卒業後の進路については、39名中就職者23名(県職員1名、県内企業13名、県外企業9名)、進学者16名(四大7名、専門学校9名)となっており、四大7名のうち工業系が4名、医療系



卒業



1名、体育系2名であります。将来、教員を志望する生徒もおり、会津工業高校の伝統を引き継いでくれればと、期待しております。昨今、少子化の影響による過疎化、高齢化、人手不足など様々な問題が見受けられるようになりました。会工電気科で学んだ生徒諸君は、きつと、この困難な時代を乗り切ってくれることでしょう。OB・OGの皆さん、温かく、時には厳しく見守ってあげてください。会工電気科卒業生はきつと期待に応える活躍をしてくれると信じています。

二学年を振り返って 二年電気科 高橋 幸翼

私が会津工業高等学校に入って、約二年間が経ちました。長いようで短かったこの二年間を振り返ってみて思ったこと、感じたことを書かせていただきたいと思います。

入学して最初に取り組んだ大きな試験は国家資格の第二種電気工事士の取得試験です。一年生の時はすべてが初めての経験だったので、期待より不安の方が大きかったです。資格取得試験の講習会では、みんなが緊張していたのですが、優しい先輩や先生方に色々教えていただいたので、リラックスして取り組むことができるようになりました。

実際に取得できた人は約半数でしたが、講習会のおかげで、これまで知らなかった電気の知識が身について、専門教科の授業が楽しく感じられるようになりました。

さらに、第一種電気工事士や危険物取扱者等の上級資格に挑戦し、合格した生徒もいました。まだ、第二種電気工事士の資格を取得していない人は、卒業するまで取得できるように、日々学習に励んでいます。

今年は、二年生の大きな行事である修学旅行がありました。私たちは、大阪・京都等を三泊四日で巡りました。クラスのみならず、文化祭もありました。私のクラスは、eスポーツと変装したクラスメイトからスタンプを収集するスタンプラリーを催しました。準備段階より、クラス全員が協力し合い、多くの方々に楽しんでもらえるよう観光スポットを作れたと思います。その中で、感謝される嬉しさやクラスみんなとの絆を深めることも出来たと思います。

残りの高校生活が悔いの残らない有意義なものになるよう、これからもクラスで協力し合い、進路に向けて努力していきたいと思っています。



《会員動向》

◎平成三十年春の叙勲受章者のご紹介

英語診断で学力向上

☆瑞宝双光章

くさか ゆきお
日下 幸雄さん70

会津若松市門田町



一九七二(昭和四十七)年、県教諭採用。昭和、若松五高中学校長などを経て二〇〇八(平成二十)年、若松二中校長で退職の学力向上に奔走した。県中学校長会北会津支会会長を務めた。「子どもたちの進路を現実させたい一心だった」と振り返る。生徒と心が通い合う指導を大切に。「同僚や家族らの支えに感謝したい」と話している。

昭和41年電気科卒

平成30年4月29日福島民報掲載

おめでとうございます

《会員からの寄稿》

余生を楽しむ

岡山県倉敷市 渡部 藤雄(昭和三十一年卒)

昭和三十一年の卒業で、今年年号が変わると八十二歳になります。既に平均寿命を越えて授かりものの余生、無理をしないで他人様には、出来るだけ迷惑を掛けないように心がけて、楽しく生きて行きたいと思っている。

楽しく生きるということは、知力も体力も共に健康であって、好きなことを好きなように出来るということだろうと思います。

現在の私にとって、一番の楽しみはと云えば「登山」と云うことになる。そして山登りの魅力はと云えば、険しく辛い山道を踏み越えて、山頂に到達した時のその達成感、その素晴らしい眺望、こみ上げる感動である。その感動を求めて新たな山を目指すことになる。

登山を始めた頃は旅行会社の山登りツアーで出かけていたが、近年は妻と二人で個人的に出かけるようになった。こうなると事前の計画が大変である。先ず自分の体力、技術力から目標の山を決め、地図やインターネットで、登山道の状況、難易度、登山口への交通手段などを調査し、自分と妻の体力、技術力に合わせて、登山のコースタイム

表を作る。このコースタイムが間違っていると、予定の時刻に予定の場所に到着出来なくなり、遭難と云うことになるので、一番神経を使う仕事である。それを基に行程表を作成し、山小屋、ホテルの予約、レンタカーの予約、乗車券等の準備をする。これらの作業はパソコンとインターネットをフルに活用する作業なので、ボケ防止には大いに役立っているだろうと思う。

今まで登った山で、特に印象深い山と云えば、私が喜寿、妻が古希の記念に登った富士山であろう。四年前の七月末、富士宮口から登った。九合目の山小屋に泊まり、翌日夜中の二時前に出発して、山頂からご来光、浅間大社奥宮に参拝、日本最高峰剣ヶ峰を極め、火口のお鉢巡りをして下山した。幸い天候に恵まれて、日本一の素晴らしい眺望でした。

次の山と云えば三年前の7月、会津駒ヶ岳、燧岳、至仏山の三山連続踏破になる。松枝岐の民宿に泊まり、翌朝主人に登山口まで送って貰った。きれいに整備された登山口で楽しい登山だった。途中の登山道には雪渓があり山頂は一面の雪、久しぶりに雪面を楽しんだ。ハクサンコザクラには少し早くチラホラ、遅咲きのミズバショウが一輪、木道の脇で待っていてくれた。気持ちの良い快晴で富士山は見えなかったが、翌日登る燧岳や至仏山などの山々がくっきりと望めた。下山の後御池ロッジに宿泊、翌日は燧岳、次の日は山の鼻から至仏山に登山、これは流石にきつかった。残された人生何歳まで生きるか分からないが、どうせ生きるなら、十分に楽しんで終わりたいものである。



会津駒ヶ岳山頂



富士山剣ヶ峰

電友会 会員募集！！

楽しい会です 高齢化に新たな風を！

職業や年齢を超え、新たな出会いも楽しいものです
学生たちの支援もしています（がんばれ、ガンバレ、がんーぼーれ、...）
OB個々人として、できることには限りがありますが。。。
電友会として様々なアイディアを出し合いませんか？
そして電友会のさらなる活性化！（フレッツ、フレッツ、...）

連絡お待ちしております m(_)_m

会員募集担当：47E菊地進 kikuchi@kansuiko.co.jp 080-5551-9941

会工HP(同窓会)をご覧ください！

<http://www.aizu-th.fks.ed.jp/>

会工の様々な情報が満載です

HPトップに同窓会ホームページの入り口があります

会報も掲載されています

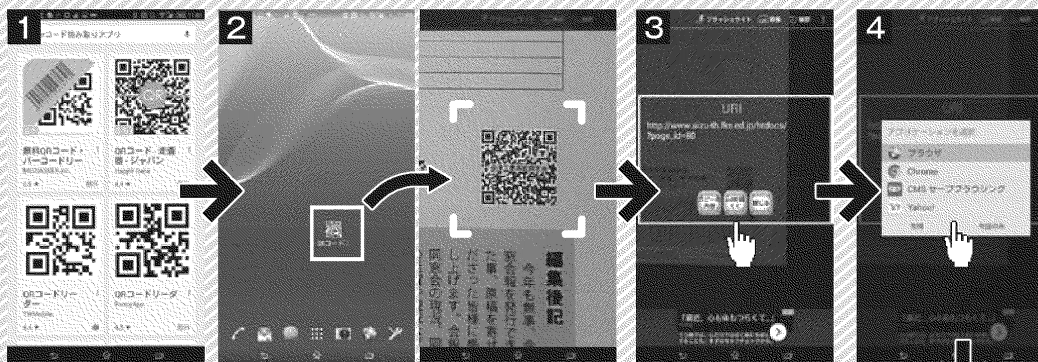
同窓会ホームページ開設

スマートフォンからもご覧になれます



投稿用メールアドレス kaikoudousukai@agate.plala.or.jp

QRコード



〈手順〉

- ①お手持ちのスマホにQRコード読み取りアプリがなければ、iPhoneは「App Store」から、Androidは「Google play」からインストールしてください。
- ②QRコード読み取りアプリを開きます。画面内に大きな四角の枠が表示されるので、枠内に収まるように上記QRコードを映してください。
- ③正しく読めると、コードに埋め込まれたURLが表示されます。
- ④URLを開くを選択しますとブラウザ選択画面が表示されますので、好みのブラウザを選択してください。
- ⑤同窓会関連連絡を選択します。
- ⑥同窓会一覧に入りましたら見たい項目を選択してください。

「会工電友会」の役員紹介

(任期：一年間の暫定延長により2019年9月までの三年)

役職名	氏名	卒年
会長	佐野 常雄	S31
副会長	渡部 昭寿	S34
	成田 良	S35
	鹿目 忠明	S40
監事	栗城 隆彦	S36
	長谷川 与一	S40
会計	近藤 信行	S40
事務局長	白井 達夫	S43
庶務	菊地 進	S47
理事	大越 一郎	S35
	中丸 茂由	S37
	藤田 晴史	S40
	渡部 幸雄	S43
顧問	栢森 幸雄	S27
	山口 健	S29
	荒明 正義	S30
	根本 一雄	S36
	菊地 良三	S37

顧問の栢森幸雄氏におかれましては、平成31年1月ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

「会工同窓会本部役員」に就いている電気科同窓生の紹介

本部役職名	氏名(敬称略)	卒年	備考
会長	藤田 晴史	S40	本部選出
筆頭副会長	浅田 誠	S43	若松会工学生会長
副会長	田中 健一	S42	東京会工学生会長
幹事	渡部 昭寿	S34	本部選出
	近藤 信行	S40	本部選出
	野中 寿勝	S50	本部選出
	村澤 智	S62	本部選出
	本名 雄一	H13	近畿会工学生会務局長
	星 秀明	S40	福島会工会幹事長
監事	長谷川与一	S40	猪苗代会工会幹事長
	高橋 誠	S60	三菱伸銅鶴友会会長
	佐野 常雄	S31	湯川会工会幹事長
	白井 達夫	S43	会工電友会事務局長
	徳永 正浩	S55	東京電力パワーグリッド会工学生会長
	佐野 常雄	S31	会工電友会会長
	石川 善一	S39	近畿会工学生会長
	二瓶 嘉人	S39	福島会工学生会長
	星 武	S27	福島会工会前会長
	大川原昌之	S28	いわき会工学生会長
事務局	真田 郁夫	S57	会津工業高校教職員

会工同窓会報 2018 版参照 2017 年 10 月改選 任期 2 年

【編集後記】

原稿を寄せてくださった皆様、編集に尽力された方々に御礼申し上げます。

東日本大震災から八年にして復興の姿がまだ見えぬ日本各地に大きな災害が発生しました。その災害の被害も大きくなりました。被害に遭われた多くの方々に對し慰める言葉も見つかりません。

詐欺事件、あおり運転事故・事件とか改ざん隠蔽不正問題、パワハラ・セクハラ問題、国際外交問題と世の中暗い出来事でしたが、年末より全国高校駅伝競走・第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走など駅伝王国の福島県の名を上げた中学生・高校生・大学生の活躍は明るい希望の持てるニュースとして、健康に留意して生きて、努力すれば必ず福の神が舞い込んでくると信じている一人です。

出来ないダメだ・無理という否定的な考えでなく、出来る・大丈夫と前向きの行動で平成最後の年・改元の年を突き進みましょう。

(編集委員 成田 良 昭和三十五年卒)

*編集委員

- 佐野 常雄(昭和三十一年卒)
- 鹿目 忠明(昭和四十年卒)
- 菊地 進(昭和四十七年卒)
- 近藤 信行(昭和四十年卒)
- 白井 達夫(昭和四十三年卒)
- 栢地 良三(昭和三十七年卒)



会員の増加を図りましょう！
電気科・電子科卒の知人・友人を勧誘しましょう。
一報をお待ちしております。
◎会員募集担当:47E 菊地進
kikuchi@kansuiko.co.jp
080-5551-9941